

令和4年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 事業概要書

事業名:木材を使った「ふるさと納税返礼品」の開発

団体名:株式会社やの商店



事業の目的・内容

木材は、「山からの切り出しの困難さ」「反る」「割れる」「乾かす必要がある」等の条件・性質があるが故、マーケットとのミスマッチが生まれがちだ。反面、そういった木材の特性は、プロダクトとしての温かみや存在感が生まれる要素でもある。

市場とのミスマッチを埋め、中量制作（大量と少量の中間）できるプロダクトデザインをしている。



今までの活動状況

- ・3DCADにより顧客ニーズと供給サイドの条件や制限とをバランスさせてプロダクトデザインを行う。
- ・漆を使用することで、杉を利用したプロダクトの幅を広げる。
- ・無垢材でもセミオーダーと中量制作に対応できるサプライチェーンを構築する。



これからの活動・行事

無垢材プロダクトのセミオーダーと中量制作に対応できる体制構築の一つとして、CNC ルーターでも制作できるプロダクトを開発する。